



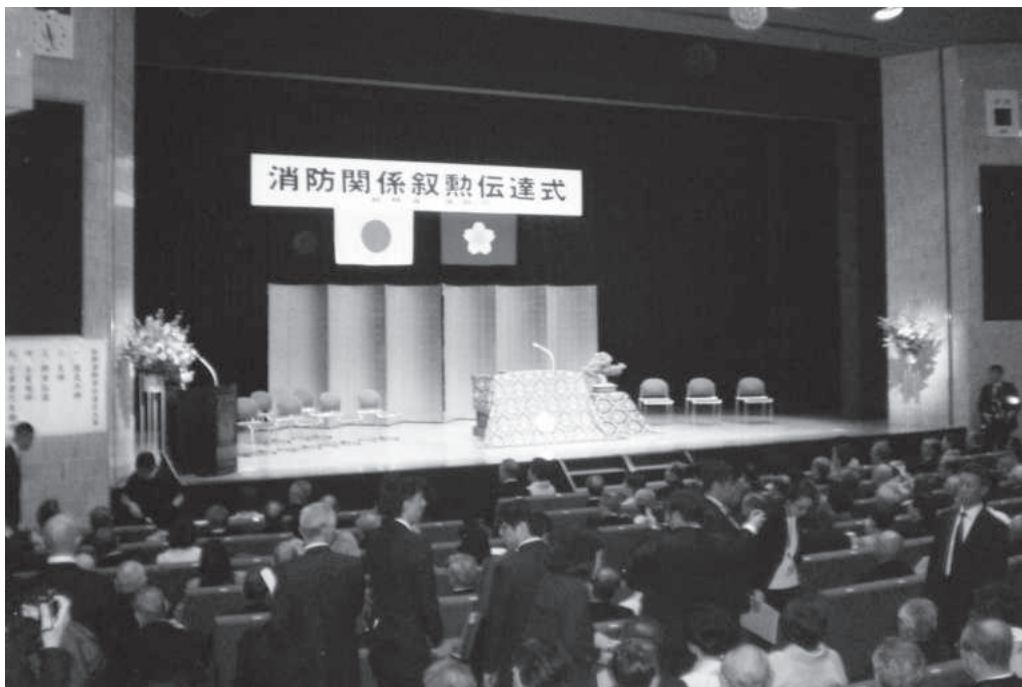
発行所
公益財団法人兵庫県消防協会
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
編集発行人 岸 谷 義 雄
題字 井 戸 知 事

危険物
決める無事故の
ストライク

平成二八年 春の叙勲(消防関係)伝達式が挙行

平成二八年春の叙勲が四月二十九日に発令されました。叙勲の受章者(消防関係)は、全国で六〇一名、うち兵庫県では、元消防団員・職員

一九名が叙勲の栄に浴せられた。受章された方々は、永年にわたり国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防御



式典の様子

するとともに、幾多の災害に對して、率先垂範して敢然と立ち向かわれ、地域の安全・安心の確保に尽力されました。また、消防力の強化、充実に努めるとともに、消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与されたこと等、これまでの抜群の功績により、その榮譽に輝かれました。

今回の叙勲の伝達式は、平成二八年五月一六日(月)一三時一五分より東京・虎ノ門の日本消防会館ニッショールにおいて執り行われ、代表者に叙勲が伝達されました。

式典終了後、受章者の方々は皇居へ参入、拜謁した後、記念撮影が行われました。なお、全国の消防関係受章者数、勲章別内訳及び本県の受章者は次のとおりです。

〈全国消防関係受章者数〉

瑞宝小綬章	二一名
旭日双光章	三名
瑞宝双光章	九三名
瑞宝单光章	四八四名
計	六〇一名

兵庫県下受章者(消防関係)

◎瑞宝小綬章

元尼崎市

消防正監 橋本 雅生



◎瑞宝双光章

元養父市消防団

団 長 片岡 稔



◎瑞宝单光章

元神戸市中央消防団

副団長 石沢 英次



元神戸市灘消防団

副団長 市岡 博次



元神戸市垂水消防団

副団長 柏木 耕二



元姫路市飾磨消防団

分団長 永井 侃



元姫路市網干消防団

分団長 小野 廣治



元姫路市姫路西消防団

分団長 田中 明洋



元尼崎市消防団

分団長 松浦 敬彦



元西宮市消防団

分団長 岩野 勝



元芦屋市消防団

分団長 山根 進



元豊岡市豊岡消防団

副団長 松井 勝己



元豊岡市但東消防団

副団長 田中 徳夫



元加古川市消防団

副分団長 高谷 正博



元赤穂市消防団

分団長 嶋田 秀昭



元高砂市消防団

副分団長 穴田 正和



元川西市消防団

副分団長 夢田 仁三



元淡路市消防団

副団長 谷山 公平



元温泉町消防団

副団長 西脇 明



受章者の皆さん

第二六回危険業務従事者叙勲が
平成二八年四月二九日に発令



式典の様子

叙勲の栄に浴された方々は、消防職員として国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防御するため、永年にわたり著しく危険性の高い業務に精励するとともに消防力の強化、充実に尽力され、消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与されました。今回の叙勲の伝達式は、平成二八年五月一日(水)及び五月二三日(金)(兵庫県の合同庁舎第二号館(総務省)において執り行われました。受章者は、全国で瑞宝双光章三四五名、瑞宝単光章二九八名、計六四三名、うち兵庫県関係では、二二名の元消防職員の方々が受章されました。

兵庫県下受章者(消防関係)
◎瑞宝双光章

元神戸市 消防監 井上 正晴



元神戸市 消防監 浮津 正典



元伊丹市 消防監 岡本 正明

元高砂市 消防司令長 梶原 詳司



元加古川市 消防監 加納 利貴



元伊丹市 消防司令長 櫻井 康二



元尼崎市 消防司令長 田口 英治



元川西市 消防司令長 西中 隆己



元尼崎市 消防司令長 橋本 静馬



元明石市 消防司令長 東田 秀男



元北はりま消防組合 消防監 藤原 慶久



元赤穂市 消防監 家根 新



◎瑞宝単光章
元宍粟市 消防司令 石原 和夫



元姫路市 消防司令長 牛尾 基好



元三木市 消防司令 大内 昌之



元西宮市 消防司令長 大坂 博



元神戸市 消防監 樫木 恵三



元豊岡市 消防司令 岸田 敏



元明石市 消防司令長 林 善信



元西宮市 消防司令長 松本 德行



元神戸市 消防司令長 山下 隆司



元姫路市 消防司令長 矢倉 文雄



平成二八年度 安全功労者・消防功労者 総務大臣表彰式

平成二八年七月六日(水)
午前一時より、スクワール
麹町にて、平成二八年度安全
功労者・消防功労者総務大臣
表彰式が高市総務大臣の出席
のもと、盛大に執り行われま
した。
表彰式では、高市総務大臣
から式辞、表彰状授与が行わ
れました。

県下の受賞者は次のとおり
です。(敬称略)

○安全功労

【個人】

友藤 富士子

【団体】

町坪婦人防火クラブ

友が丘防災福祉コミュニ

ニティ

日東化成株式会社 尼

崎工場



受賞者の皆さん

熱中症予防のために

「熱中症」とは、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態のことを言います。症状としては、めまい、吐き気、倦怠感などで、重症になると意識障害を発生させるなど、命に関わる病気です。室外だけでなく、室内においても環境条件や体調によって熱中症になる場合もありますので、注意が必要です。

熱中症はこまめに水分を補給したり、暑さをさげたりするなど適切な予防を行うことで避けることができます。

気温の高い日が続くこの季節、既に報道等でも取り上げられているところですが、熱中症予防が欠かせません。厚生労働省において予防啓発・注意喚起のリーフレットが作成されましたので、ぜひ参考にいただき、元気に夏を乗り切りましょう。

厚生労働省ホームページ
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000124641.html>

暑さを避ける

室内では・・・
 ▶ 扇風機やエアコンで室温を調節
 ▶ 遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用
 ▶ 湿度を低く保つ
 ▶ WBGT値も参考に

外出時には・・・
 ▶ 日傘や帽子の着用
 ▶ 日陰の利用、こまめな休憩
 ▶ 水分の多い日は、日中の外出をできるだけ控える

こまめに水分を補給する

室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じなくても、こまめに水分・塩分、経口補水液などを補給する。
 ※水分補給は、熱中症予防に有効です。

熱中症が疑われる人を見かけたら

見逃さない、意識がない場合は、すぐに救急車を呼びましょう！

熱中症についての情報はこちら

厚生労働省作成リーフレット

平成二八年五月一八日(水)一四時から、兵庫県公館において、平成二八年兵庫県功労者表彰が挙行されました。

表彰は、二二の功労分野にわたり二二二名の方が受賞されました。

- ◎消防関係
- 前養父市消防団 団長 浄慶 康治
- 淡路市消防団 団長 魚住 幸市
- 豊岡市城崎消防団 団長 西浦 博
- 宝塚市消防団 団長 福井 仁
- 前神戸市消防司監 岡田 勇
- 前加古川市消防正監 舩賀 文博

平成二八年兵庫県功労者表彰式挙行



東播磨、中播磨、北播磨、西播磨、淡路の5地区で地区消防操法大会開催

八月七日(日)の兵庫県消防操法大会出場へ向けて、東播磨・中播磨・北播磨・西播磨・淡路の五地区が、地区消防操法大会を開催しました。まず、東播磨地区の六月九日(日)を皮切りに、西播磨地区が六月二十六日(日)、中播磨地区が七月三日(日)、北播磨地区と淡路地区が七月一〇日(日)にそれぞれ開催し、熱戦を繰り広げました。

各地区の大会結果は次のとおりです。

【東播磨地区】

・ポンプ車の部

優勝 高砂市消防団

米田分団

・小型ポンプの部

優勝 稲美町消防団

天満北分団

国岡部

準優勝 加古川市消防団

志方西分団

三位 播磨町消防団

野添分団

【中播磨地区】

・ポンプ車の部

優勝 姫路市網干消防団

旭陽分団

準優勝 神河町消防団

越知谷分団

越知部

三位 姫路市西消防団

白鳥分団

【北播磨地区】

・ポンプ車の部

優勝 西脇市消防団

比延部

準優勝 加西市消防団

第九分団

第一部国正班

三位 多可町消防団

第九分団中安田部

・小型ポンプの部

優勝 多可町消防団

第一〇分団

【西播磨地区】

・ポンプ車の部

優勝 赤穂市消防団

第一分団

準優勝 赤穂市消防団

第三分団

三位 太子町消防団

鰯分団

・小型ポンプの部

優勝 たつの市消防団

新宮第一分団

坂本部・横屋部

三木市消防団

別所第四分団

石野班別所機動隊

三位 加東市消防団

北野分団

準優勝 たつの市消防団

龍野第一〇分団

・ポンプ車の部

優勝 南あわじ市消防団

準優勝 南あわじ市消防団

優 秀

・小型ポンプの部

優勝 洲本市消防団

準優勝 洲本市消防団

優 秀

この結果により、この度の兵庫県消防操法大会への出場隊が決定しました。兵庫県消防操法大会への出場隊については、右記のとおりです。

地区名	小型ポンプの部	ポンプ車の部
神戸	神戸市北消防団 A	—
	神戸市北消防団 B	—
阪神	川西市消防団	—
	猪名川町消防団	—
東播磨	稲美町消防団	高砂市消防団
北播磨	多可町消防団	西脇市消防団
中播磨	福崎町消防団	姫路市網干消防団
西播磨	たつの市消防団	赤穂市消防団
但馬	朝来市消防団	養父市消防団
丹波	丹波市消防団	篠山市消防団
淡路	洲本市消防団	南あわじ市消防団

平成二八年度兵庫県まとい会理事会等開催

平成二八年七月一日(金)シーサイドホテル舞子ビラ神戸において平成二八年度兵庫県まとい会正副会長会・理事会・研修会・意見交換会が開催されました。

理事会の主な議題は次のとおりです。

○第一号議案

平成二七年度事業報告及び歳入歳出決算について

○第二号議案

役員の異動及び改選について

○第三号議案

平成二八年度事業計画及び歳入歳出予算について
研修会では兵庫県立大学の木村玲欧氏を講師に迎え、「次世代へつなげる防災」正しい知識と適切な対応」と題して講演いただきました。



講演会の様子



西嶋新会長就任あいさつ



木津前会長退任あいさつ

井戸知事 兵庫県まとい会に寄せて



真直ぐに 災害現場 飛んでいき

危険省りみない 意気や高し





第二三回全国女性消防団員活性化 北海道大会 開催 (公財)兵庫県消防協会

女性消防団員活性化大会は、平成六年九月に静岡県沼津市で第一回が開催されて以降、全国八ブロックの持ち回りで毎年開催されています。今年の第二三回北海道大会は平成二八年六月三日(金)に、「今こそ女性のチカラ!広がり女性消防団 北の大地から!!」をテーマとして、さっぽろ芸術文化の館(ニトリホール)外で行われ、全国から約三千名が集いました。

兵庫県からは、一一消防団で三五名の女性消防団員を含む計五二名が参加。また、岸谷兵庫消防協会会長は、日本消防協会副会長として開会式に参列されました。

開会式は、大会旗の入場で始まり、開会宣言、主催者挨拶、開催道知事・市長挨拶、来賓祝辞と進行し、盛大に行われました。

引き続き、四消防団(福島県南相馬市・福島市、北海道札幌市、埼玉県熊谷市、三重県四日市市)による活動事例発表、海外における女性消防団の活動紹介が行われた後、旭川市旭山動物園 板東園長の記念講演がありました。

午後からは、火災予防啓発劇(二消防団)、今大会で初の試みとなった「仮装でアクションPR」(四消防団)で会場全体が和やかな雰囲気になった後、長野オリンピックスピードスケート銅メダリス

ト 岡崎朋美さんによる特別講演が行われました。続く閉会式では、大会宣言と次回開催県である広島県消防協会長へ大会旗の引き継ぎが行われ、閉会宣言により大会は幕を閉じました。

その後、会場をホテル・ロイトン札幌に移して情報交流会が開催され、札幌ジュニアジャズスクールによるオーブニング演奏に続いて鏡割りで開会した後、音楽演奏や歌謡よさこい演舞の歓迎セレモニーが行われるなか、参加者相互による市町や府県を超えた交流が行われました。

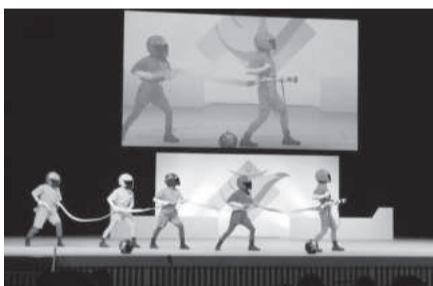


開会式(日本消防協会秋本会長主催者挨拶)



【兵庫県からの参加団体】
神戸市灘消防団、神戸市北消防団有馬支団、姫路市飾磨消防団、明石市消防団、豊岡市出石消防団、小野市消防団、三田市消防団、丹波市消防団、南あわじ市消防団、淡路市消防団、播磨町消防団

大会に参加し、女性消防団員の「情熱」と「やる気」を感じるとともに、消防団員数の減少や少子高齢化社会の到来などといった社会情勢の変化の中で、女性消防団員のチカラが必要とされていることを改めて認識できました。



火災予防啓発劇
(北海道音更町消防団「消防戦隊けすんじゃー」)



活動事例発表
(南相馬市・福島市消防団、熊谷市消防団)



仮装でアクションPR
(普通寺市消防団「女性消防団」)



仮装でアクションPR
(鳥取市消防団「鳥取砂丘で熱中症」)



開会式での岸谷県協会長(前列左から3人目)



情報交流会「鏡割り」



岡崎朋美さんによる特別講演

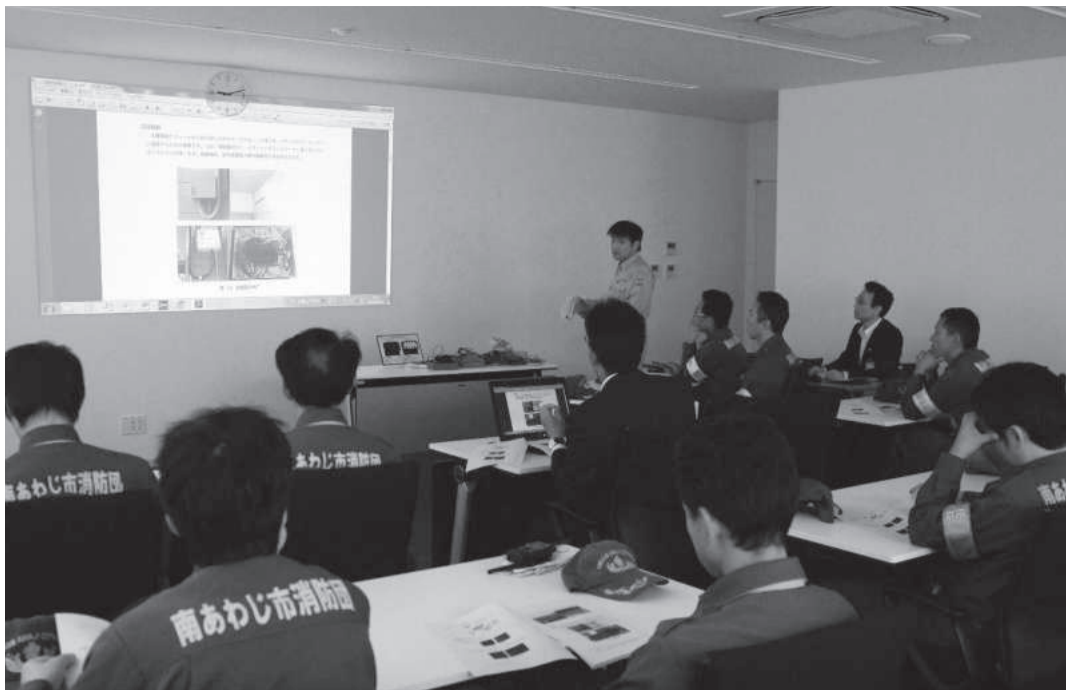




『幹部教養訓練研修』

南あわじ市消防団

平成二八年五月二九日(日)、南あわじ市役所三階会議室にて、太陽光発電パネル火災の原因と火災時の対応についての研修で、太陽光パネルメーカーと施工業者講師のもと教養訓練研修会を開催しました。この研修会には



幹部教養訓練研修の様子

南あわじ市消防団選任分団長(地区団長)以上二八名が対象で、淡路広域消防事務組合消防署員一名を交えて実施しました。

近年、太陽光発電パネルを備えた建物が増加しており、万一その建物で火災発生した

場合、太陽光パネルが発電し続けることが考えられることから消防団員へ安全且つ適正に消火活動方法を知ってもらう上で初めてこの研修を開きました。南あわじ市内でもこの数年で、家の屋根、スレートの造りのソーコの屋根、平地にパネルを並べ周囲にフェンスを設置した太陽光発電施設など多く見受けられるようになりまし

た。太陽光発電パネル火災は先ほども触れましたが、太陽光がパネルに入れば発電します。その建物で夜間に火災が発生した場合、消火活動は通常どおりで良いと考えますが、夜明けとともに発電し、付近の物に不用意に触れると感電する恐れがあるとのことでした。

普段気にしない事でも改めて説明を受けるとそのとおりと団幹部も熱心に聞き入っていました。

その対応としては、火災現場に入ると、接続箱をあけてブレーカを落とすという対応になります。接続箱から上流は電気が流れています。下流には電気が流れなくなります。

接続箱を開けて電気を遮断する場合は耐電用ゴム手袋を使用し、安全確保した上で、ドライバーを使用しなければなりません。

火災時、火は目に写りますが、電気は見えないため大変危険で怖いものだと感じます。これからは、時代の変化と共により高度な消火知識と技術が求められ、消防団員の安全確保の上、消防団活動を行い、地域住民が安心して暮らせる町づくりのため、南あわじ市消防団は防火・防災活動に取り組んでいきます。

『心機一転』

神戸市兵庫消防団

我々神戸市兵庫消防団の管轄とする神戸市兵庫区は、神戸市の市街地中央に位置する約一〇万人の町です。北部は六甲山系へとつながる林野や住宅地が広がり、南部は海に面し、兵庫運河のまわりには電機や車両などの工場、神戸市の台所である中央卸売市場が並びます。中部には古くから繁華街として栄えてきた新開地、湊川市場を始めとする商店街、湊川公園や会下山公園を擁する住宅地となっており、地域の人のつながりも深く、下町情緒あふれる地域です。

神戸市兵庫消防団は、いち早く神戸市の民間救急講習団体として登録し、防災福祉コミュニティや学生、会社団体を対象に、AEDを使った心肺蘇生法やケガの手当ての講習会の指導を行っています。

兵庫消防団は、今年で六年目になります。さらに、今年で六年目にな

るのですが、区内の保育園児を対象に「兵庫区保育所防災フェア」を開き、園児を対象に衣服に着火した際の対処法として、アメリカ式のストッブ・ドロップアンドロールを実演指導し、幼い命を守る取り組みも始めています。



「兵庫区保育所防災フェア」の様子

このような活動を行っている兵庫消防団ですが、昨年度、新しい装備品が貸与されました。二〇年ぶりと成る新しい防火衣と、新たなデジタル無線機です。年頭の消防出初式では、上下セパレート式になった新しい防火衣で岸壁放水に参加しました。デジタル無線機は、団員全体が円滑に交信できるようになるまで少し時間がかかりますが、今後積極的に訓練に取り入れ、活用して参ります。

装備も新たに、「心機一転」、地域防災の要としての役割を果たして参ります。



訓練の様子

わが町の団長さん

「消防団から
だんじりまで」

神戸市東灘消防団

西浦 豊



東灘区は、神戸市の東端に位置しており、六甲山や瀬戸内海の豊かな自然環境に囲まれ、酒蔵としての顔、だんじりをはじめとした伝統文化の生きた街としての顔など様々

な顔を持っています。

この街で西浦団長は、平成二年に住吉第二分団に入団以降、持ち前の率先垂範による行動力と指導力により数々の役員を歴任し、平成二八年四月に団長に就任されました。

若き日の団長は、阪神・淡路大震災のあった一月一七日には団員と共に分団詰所にとどまり、昼夜を問わず、一人でも多くの人を助けたいという気持ちで必死に救出活動を行い、翌日もガス漏れで危険があると聞くと、自主的に周辺住民に避難を呼びかけ安全な場所まで誘導するため、団員を引き連れて国道を横断するなど献身的に活動されました。

本人は「もう少し助けられたかもしれない」と今でも思われています。

熊本地震の際には財団法人住吉学園の役員を務められている関係で、義援金を熊本県副知事へ直接届け、被災地を視察し、阿蘇神社の倒壊している様子に心痛め、その被災状況などを熱く詳しく東灘消防団員へ伝えていただきました。

日頃の団長は、釣りやクレー射撃をこよなく愛し、東灘区のだんじり祭りでは呉田地区の地車に乗って地域住民と一体となって地域を力強く練り歩かれています。

これからも消防団員はもちろんのこと地域住民からも東灘区の顔として、今後も活躍を期待されている団長さんです。

われら
若手消防団員

～消防団に入団して～

たつの市消防団 龍野第二分団 前原 悠司



はじめまして、今年度から消防団に入団しました前原です。私が入団したきっかけは、職場の上司に勧められたことです。勧められた当初は、上司の言うことだし断れない、休みが無くなるのは嫌だなどという思いでした。しゅしゅ入団したものの、操法大会がきっかけで消防団が私にとっても魅力的なものになりました。初めて操法大会を経験し、まず思ったことは、素直に「かっこいい」ということでした。先輩方のかっこいい姿を見て、次の大会に絶対出場したいという思いになり、出るからには上位を目指したいという思いになりました。今では、訓練の日が待ち遠しくらいです。

地域の人にとって、火災等が起こらないことが一番であり、それは私たち消防団員にとっても同じことです。しかし、いざ火災が起こった時に水が出せないとなつては消防団として恥ずべきことであるので、いつ起こるか分からない火災等に備え、日々訓練をし、精進していきたいと思えます。また、訓練以外にもお祭りの警備等で、地域の人たちに何か少しでも返していけるよう頑張りたいと思います。



がんばってます、女性消防団員

『女性の力で地域を守る』

姫路市として初の女性消防団員として平成二五年三月に発足しました。

姫路市全体で現在は一五名が活動しており姫路東消防団五名、姫路西消防団五名、飾磨消防団五名それぞれ所属は違いますが、今回は姫路東消防団員、荻原、中根、池田、兼田、吉井の五名の活動を紹介します。

入団前は、消防団の活動は何も解らない状態でしたが、男性消防団員、署員の指導により五年目を迎えています。

初仕事は、災害現場ではなく、消防行事（出初式、消防操法）の司会進行及び表彰式の介添え等を行いました。災害現場でも女性に出来ることがあるのだという思いで、昨年の六月に行われた水防訓練ではゴミ袋とダンボールを活用し、都市型浸水防止工法を行いました。集中豪雨等の発生時に身近なものを使い、簡単に水の浸水を防ぐ工法を地域の方々に伝えていきたいと思っています。

また、平成二八年消防出初式では梯子の演技者としてしご乗りを披露しました。次の世代の女性達が、私も消防団に入りたいたいと思って頂けるように活動のPRをしました。今後も、消防活動や地域の防災活動に積極的に参加し、女性として地域の防火・防災に貢献できるよう努めていきたいと思っています。



出初式



姫路東消防団

地域のお知らせ

三木市

くみき(三木) って……知っ得く三木情報

三木の地名の由来は、神功皇后が市内の君が峰で休まれた時、土地の者が壺に入れた酒を献上したことから、御酒、美酒と呼んだのが始まりで、美壺と三木、美壺と美囊に転じたと言われています。

金物のまち三木

三木の金物の歴史は古く、戦国時代には、東播八郡二四万石を領した別所長治公の居城(三木城跡及び付城跡・土壘が国指定の文化財)がありました。三木合戦によって町は荒廃しました。その後、豊臣秀吉の復興策によって商工業が活発化し、今日の金物産業の発展の基礎となっています。現代では、工匠具・手引のこぎりの全国シェアは約一七%となりました。町工場からは槌音がトンテンカンと聞こえてきそうです。



三木金物まつり

毎年、一月には産業と文化の祭典「三木金物まつり」が開催され、二日間約一六万人の来場者があり三木の金物の素晴らしさを全国に発信しています。

ふれあい笑顔 いっぱいの三木

一〇月、実りの季節を迎え、市内各地で秋祭りが行われます。中でも播州三大祭りの一つ、「大宮八幡宮」の例大祭りは、重さ約二トンもある屋台を担ぎ上げ、八五段の急な石段を、力強い掛け声と共に登って行きます。躍動感があり、みきっ子の心が一つになる代表的なお祭りです。県外から三木へ帰郷される方も多く、三木の秋は、笑顔が絶えません。楽しい祭りが終わると紅葉の季節を迎え山々が色づきます。



大宮八幡宮(本宮)秋祭り

色んな一番のある三木

三木市は「日本一美しいまち三木をめざそう」を市政方針に掲げ、「人・産業・自然」が調和する街づくりを進めています。

農業

酒米の最高級品である山田錦の主産地で、その生産量は日本一を誇っています。三木金物ブランドとともに三木産山田錦で仕込んだ日本酒は最高です。

交通の要衝・ゴルフ場

三木市は中国自動車道・山陽自動車道が通過しているほか、舞鶴自動車道・神戸鳴門自動車道へのジャンクションもあり、全国的にも交通の要衝として注目されており、ゴルフ場は西日本一の数を誇っています。

防災拠点

県立三木総合防災公園は陸上競技場・サッカー場・野球場・テニス場(ビーンズドーム・屋内テニス場では日本最大級)等のスポーツ施設があり、体を動かし楽しむことができます。一方で、大規模災害時には、これらの施設は、被災地への応援・救援物資の防災拠点施設となります。

また、兵庫県広域防災センター(消防学校)が公園に隣接しており、県下の消防職・団員が教養と技術習得を重ねています。

このように、全国屈指の交通の要衝に位置する三木市は、防災拠点の町としての顔を持っており、自主防災組織結成率は一〇〇%、一三二六名の消防団員が三木市の防災の一翼を担っています。

研究施設

また、世界最大級の実大三次元震動破壊実験施設(E・ディフェンス)も公園に隣接しており、住宅はもちろん超高層ビルや架橋・危険物施設などの耐震性を検証し、地震に強い構造物の研究が行われています。

他にも、三木山森林公園や三木ホースランドパーク(公式馬術競技場)など自然と触

篠山市

丹波篠山は「日本遺産のまち」。「ユネスコ創造都市ネットワークのまち」として魅力を国内外へ発信中!

かつて城下町として栄えた丹波篠山は、デカンショ節に歌われている、人々の暮らし、まちなみ、自然や文化が今日においても継承されていることが高く評価され、平成二七年四月に第一号の「日本遺産」に認定されました。

また、同年一二月には世界地域の文化や魅力を生かして産業に結びつけ、活性化を図ろうとするネットワーク「ユネスコ創造都市ネットワーク・クラブ」にも認定されました。これらの認定に伴い、篠山市内の観光名所に新しくスマートフォンを駆使した映像と多言語で説明する看板を設置し国内だけではなく海外からの観光客の方にも篠山の歴史をわかり易く説明しています。

是非一度、丹波篠山を訪れて「日本遺産のまち」「ユネスコ創造都市ネットワークのまち」を体験してください。お問い合わせは篠山市役所農都創造部商工観光課(☎079-552-6907)まで

三木情報ミュージアム
<http://miki-museum.jp/>

れ合える施設が一杯です。春は美羹川の桜並木、夏はブドウ狩り。自然豊かで、安らぎのある三木市へぜひ一度お越しください。

丹波篠山デカンショ館

「丹波篠山デカンショ館」は青山歴史村の付属施設として平成二八年四月にオープン。館内では、デカンショ節やデカンショ祭をはじめ、「日本遺産のまち 丹波篠山」の歴史や文化、自然、特産品なども紹介しています。さらにバーチャルデカンショ踊りブースでは、AR(拡張現実)技術を使用してデカンショ踊りが再現され、祭り会場にいる雰囲気味わえます。歴史と文化「日本遺産のまち 丹波篠山」の魅力をごゆっくり堪能ください。



丹波篠山デカンショ館

丹波さやまNAVI

日本遺産 丹波篠山デカンショ館の開館にあわせて「丹波篠山NAVI」が完成しました。日本語、英語、中国語(繁体、簡体)、ハンゲル、ドイツ語の六か国語対応です。観光案内ナビは五〇箇所に設置された案内板にスマートフォンを向けると案内映像が

流れ、懐かしのお宝映像やローンの美しい空撮映像を満載しています。観光一貫はデカンショ館の観光ビデオの多言語説明として使え、デカンショ館体験ゾーンでは備え付けタブレットだけでなく、手持ちのスマートフォンでデカンショ踊りを体験、写真撮影もできます。また、篠山市の市章をメーカーにしてスマートフォンを向けると画面上でデカンショ踊りの実演も行います。



丹波篠山NAVI

第六回丹波篠山デカンショ祭

■日程：平成二八年八月一日(月)～一日(火)
■場所：篠山城跡周辺 篠山市北新町

篠山といえば「デカンショ祭」といわれるほど民謡デカンショ節のまちとして知られています。丹波篠山デカンショ祭は、このデカンショのリズムに合わせて踊る総踊りがメインで丹波篠山の真夏の風物詩として多くの方々から愛されています。デカンショ節には地域のその時代ごとの風土や人情、名所、名産物が歌われており、今日においても新たな歌詞を生み出し新たな丹波篠山を更に後世に歌い継ぐ取り組みを続けています。



やぐらの周りで広がる踊りの輪

編集後記

厳しい暑さが続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、今月号では春の叙勲をはじめ、各種表彰式の様子を掲載しております。受章された皆様、誠にありがとうございます。

各地区の消防操法大会も終わり、県大会出場隊が決定しました。いよいよ県大会です。体調管理には十分に気を配っていただき、日頃の成果を存分に発揮していただけたらと思います。

熱中症をはじめ、大雨・台風など何かと気がかりな季節となりましたが、災害への備え・体調管理には気を付けてください。



【お詫びと訂正】

兵庫消防平成二八年五月一五日発行第六六四号の「がんばってます、女性消防団員」において、明石市消防団 女組(めぐみ)班長 高橋久美子氏の氏名を誤って掲載してしまいました。お詫び申し上げます。また、次のとおり訂正いたします。

(正) 高橋 久美子
(誤) 橋 久美子